

各 位

会 社 名 VTホールディングス株式会社 代 表 者 代表取締役社長 高橋 一穂

(コード: 7593 東証プライム市場、

名証プレミア市場)

問合せ先 常務取締役管理本部長 山内 一郎

(TEL. 052-203-9500)

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異について

2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公開しました実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異

(2025年4月1日~2025年9月30日)

(単位:百万円)

連結	売 上 収 益	営 業 利 益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する 中間利益	基 本 的 1 株 当 た り 中 間 利 益
前回発表予想(A)	174, 000	5, 700	5, 000	3, 000	24円79銭
実 績 値(B)	184, 124	6, 777	6, 442	3, 666	30円60銭
増 減 額 (B-A)	10, 124	1, 077	1, 442	666	_
増減額(B-A) 増減率(%)	10, 124 5. 8	1, 077	1, 442 28. 8	22. 2	

2. 差異の理由

当中間期の業績が当初予算を上回った主な要因は、自動車販売および住宅関連事業の堅調な推移によるものです。

自動車販売関連事業では、国内市場において弊社グループの取扱いブランドで新型車の投入が少なく新車販売台数は減少したものの、中古車販売台数が供給回復により好調に推移しました。海外市場ではスペインや南アフリカでの販売拡大により、新車・中古車ともに販売台数が増加し、全体では前年同期比 102.9%となりました。さらに、サービス部門およびレンタカー部門も堅調に拡大し、増収増益に寄与しました。

住宅関連事業では、資材価格の高止まりや人件費上昇といった厳しい環境下においても、戸建分譲住宅の販売戸数及び粗利益が好調に推移し、売上・利益ともに前年を上回りました。

その結果、連結売上収益および営業利益はいずれも過去最高を更新し、中間期業績は当初計画を上回る水準となりました。

なお、2026 年3月期通期の連結業績予想につきましては、不確定要素が多いことから現時点において修正はありません。今後の業績の進捗状況に応じて、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。